

人間の本质を描く能・狂言
感じる古典文学
古文は時の方言
映像に残す古典演劇
言語と感情と身体表現



教授
三宅 晶子

ミヤケ アキコ

教育学部 学校教育課程 国語・日本語教育講座
大学院教育学研究科 言語文化系教育専攻 国語教育分野
大学院教育学研究科 教育実践専攻
miyake-akiko-yr@ynu.ac.jp

【研究概要】

総合芸術としての能楽研究。様々な古典文学や、美しい日本語を駆使した能の詞章の分析、象徴性に富んだ演技の意味や効果の解釈、能の音楽や面、衣装との関係など、あらゆる情報を総合して生まれる舞台芸術である能・狂言の作品分析。／またその作業を通じて培った古典文学の知識に基づき、現代社会に必要な古典教育について。

【アドバンテージ】

能・狂言については、長年の研究と実技の稽古を通じて、演技内容の細部まで把握可能です。それをわかりやすく解説する方法を習得しています。／能の典拠となっている古典文学についての造詣も深く、長年教員養成を目的とする学部において、古典教育を担当しているので、小中高校の学校現場や教師のために必要な古典教材・教具・副教材などを開発することが可能です。

【事例紹介】

「対訳で楽しむ能」シリーズ出版。能一番ずつ、平易でそれだけでも十分楽しめるように配慮した現代語に訳した能の詞章と、舞台進行に従ってわかりやすく解説したシリーズ。／マルチ画面による能の映像作成。舞台で行われていることを出来るだけ立体的に、魅力的に、重要な情報を逃さずデータ化。



室町時代の翁を復曲上演（横浜能楽堂）



チェコでのシンポジウムの一場面 能のお面を実際に当てて視界の狭さを実感する参加者

■ 相談に応じられるテーマ

教材・教具開発（国語）
古典教育（楽しい古典・役に立つ古典）
日本古典文学（美しい現代語訳・面白い解説）
能・狂言（舞台解説・映像作成・曲目紹介）

■ 主な所属学会

能楽学会
中世文学会
早稲田大学国文学会
全国大学国語教育学会

■ 主な論文

『禪竹のもたらした能の革新性』「能と狂言14号」2016
『類型化以前の霊験能』「能と狂言12号」2014
『金春禪竹の能小考』「国語と国文学90巻」2013
『創生期の能の魅力』「観世80巻9号」2013
『古文は時の方言』「横浜国立大学 国語研究30号」2012

■ 主な著書

「対訳でたのしむ能」シリーズ 檜書店 刊行中
「あらずじて読む名作能50」世界文化社 2005.5
「歌舞能の確立と展開」ベリカン社 2001.2
「世阿弥は天才である―能と出会うための一種の手引き書―」草思社 1995.9